

AXL公認会計士講座

平成22年度 公認会計士試験 第Ⅱ回短答式試験 解答速報

科目	問題	正解	難易度	問題	正解	難易度
企業法	問題1	2	易	問題11	2	易
	問題2	5	易	問題12	3	易
	問題3	3	易	問題13	3	中
	問題4	1	易	問題14	4	易
	問題5	3	中	問題15	2	難
	問題6	5	易	問題16	2	中
	問題7	3	中	問題17	4	中
	問題8	5	易	問題18	1	易
	問題9	2	易	問題19	5	中
	問題10	4	易	問題20	2	中

※解答速報はAXL独自の見解に基づき、作成したもので本試験の公式結果ではありません。
また、内容につきましては変更する場合がございますので、予めご了承ください。

AXL事務局

企業法 講評

1. 全体講評

企業法は、例年通り、出題数20問、問題肢4肢・選択肢5肢であった。

出題内容は、例年と同様、条文及び若干の判例の存否を問うものであった。難易度は、細かい知識も要求されており、例年と較べてやや高めであろうか。

2. 出題分野と出題形式

商法（会社法）総則・商行為から2問、会社法から16問、金融商品取引法から2問出題された。会社法の内訳は、設立1問、株式2問、資金調達3問、機関5問、計算2問、外国会社1問、組織再編2問であった。

出題形式は、20問すべて正誤組合せ問題で、正しいものの組合せを問うものであった。

3. 難易度

難易度を、難・中・易の3段階に分けてみると、問題1：易、問題2：易、問題3：易、問題4：易、問題5：中、問題6：易、問題7：中、問題8：易、問題9：易、問題10：易、問題11：易、問題12：易、問題13：中、問題14：易、問題15：難、問題16：中、問題17：中、問題18：易、問題19：中、問題20：中、ということになるだろうか。

企業法は、80点以上は取っておきたい科目であるし、また可能であろう。

*なお、問題15で「外国会社」が出題され、問題19で「金融商品取引法上の有価証券」の細かい知識が問われたが、いずれも、12月短答講座で出題した論点であるので、受講された方にとっては、容易に正解することのできた問題ではなかったかと思われる。